

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 4 区分

【発行日】平成 18 年 11 月 2 日 (2006.11.2)

【公開番号】特開 2004-111039(P2004-111039A)

【公開日】平成 16 年 4 月 8 日 (2004.4.8)

【年通号数】公開・登録公報 2004-014

【出願番号】特願 2003-324376(P2003-324376)

【国際特許分類】

**G 1 1 B 5/00 (2006.01)**

**G 1 1 B 5/455 (2006.01)**

**G 1 1 B 5/84 (2006.01)**

【F I】

G 1 1 B 5/00 D

G 1 1 B 5/455 D

G 1 1 B 5/84 C

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 9 月 14 日 (2006.9.14)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

A．磁気ディスクを回転可能な状態で支持する支持組立品を備えたベース；

B．磁気ライト／リード部材を備えた磁気ヘッドを支持するための磁気ヘッド支持を有し、前記ベースによって支持されている移動可能なキャリッジ；及び、

C．2 つの直交移動軸 X 軸及び Y 軸に沿って、前記磁気ヘッドを備えた前記キャリッジを前記磁気ディスクに対して移動させるための位置付け手段を備え、

前記磁気ヘッドの縦軸と前記 X 軸が 0° から 90° の間（ただし、90° を除く）の、予め決められた角度を形成する磁気ヘッド・ディスクテスター。

【請求項 2】

前記予め決められた角度が 45° である、請求項 1 に記載の磁気ヘッド・ディスクテスター。

【請求項 3】

磁気ライト／リードヘッドと磁気ディスクを電氣的に試験するために磁気ヘッドを磁気ディスクに対して移動させるための方法であって、前記磁気ヘッドがキャリッジから拡張する磁気ヘッド支持によって支持されており、前記磁気ヘッド支持が縦軸を有しており：

前記磁気ディスクを静的なベースに対して回転可能な状態で支持すること；

前記キャリッジが座標システム上で互いに直交した X 及び Y 方向に沿って移動可能であり、前記磁気ヘッド支持の前記縦軸が前記 X 軸に対して予め決められた角度を形成するように前記磁気ヘッド支持及び前記磁気ヘッドが位置付けられるように、前記キャリッジを前記座標システムに設置すること；及び、

前記ヘッドが前記ディスク上を移動できるように前記キャリッジを前記 2 つの方向に沿って駆動することを含む磁気ヘッドを磁気ディスクに対して移動させるための方法。

【請求項 4】

前記予め決められた角度が 45° である、請求項 3 に記載の磁気ヘッドを磁気ディスクに対して移動させるための方法。

## 【請求項 5】

X - Y 移動プラットフォームを備えた磁気ヘッド・ディスクテスターであって、前記ヘッドの縦軸と X 軸との間の角度が 90°ではなく、それによって、必要とされるスキュー角度に対する X 方向の動きの範囲と Y 方向の動きの範囲との間にトレードオフを導入し、前記トレードオフが前記ヘッド及び（または）ヘッドローダーアームがスピンドルのハブに衝突することを防止するために、長い X 方向の移動範囲と短い Y 方向の移動範囲を選択することを可能にする、磁気ヘッド・ディスクテスター。

## 【請求項 6】

前記ディスクの同一表面上で上部ヘッドと下部ヘッドを試験するために、V 型のヘッドローダーアームが前記 X - Y 移動プラットフォーム上に設置されている、請求項 5 に記載の磁気ヘッド・ディスクテスター。

## 【請求項 7】

前記上部ヘッド及び前記下部ヘッドのどちらもが前記スピンドルのハブに衝突しないように、前記 X 方向の移動範囲及び前記 Y 方向の移動範囲が選択されている、請求項 5 に記載の磁気ヘッド・ディスクテスター。

## 【請求項 8】

前記 X 方向の移動範囲及び前記 Y 方向の移動範囲が機械的な制限によって制限されている、請求項 5 に記載の磁気ヘッド・ディスクテスター。

## 【請求項 9】

前記ヘッドローダーアームが前記ヘッドを前記ディスクの両面に設置することを可能にし、それによって、上部のヘッド試験領域が前記上部ヘッド及び前記下部ヘッドの両方を試験するために使用することができ、下部のヘッド試験領域が前記上部ヘッド及び前記下部ヘッドの両方を試験するために使用することができる、請求項 6 に記載の磁気ヘッド・ディスクテスター。

## 【請求項 10】

必要なスキュー角度を達成するために X 方向の動きだけが使用されるように、前記ヘッドの前記縦軸と前記 X 軸との間の前記角度が選択される、請求項 5 に記載の磁気ヘッド・ディスクテスター。

## 【請求項 11】

前記ヘッド及び（または）前記ヘッドローダーアームが前記スピンドルのハブに衝突する可能性がない状態で、前記ヘッドが前記ディスクから離れたアンロード位置に達するために、前記 X 方向の動きの範囲が十分に広い、請求項 5 に記載の磁気ヘッド・ディスクテスター。